

## ローテーションスケジュール例

研修スケジュールの例1(基本型)



1年目は、各科2か月ずつと比較的時間をかけてロートすることで、入院から退院までの担当が可能。  
神経内科研修は2年目の連携施設で行う。

研修スケジュールの例2(連携施設研修6か月間型)



2年目の連携施設での研修を6か月間とし、後半6か月間は基幹施設である静岡市立静岡病院に戻り、不足症例を補う。

研修スケジュールの例3(subspeciality重点型)



1年目の2か月間、2年目の10か月間、3年目の12か月間と、最大で2年間のsubspeciality研修が可能。